

令和2年鴨川市10大ニュース（詳細）

順位	内容（月）	詳細
1	<p>【新型コロナウイルス】 小中学校の臨時休業やイベント中止など市民生活へ甚大な影響 感染予防と経済の両立目指し地域一丸（通年）</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大により、4月7日、内閣総理大臣から「緊急事態宣言」が発令されました。感染拡大防止のため、不要不急の外出自粛や、一部施設の休業など、国・県からさまざまな要請を受けました。市主催のイベントは軒並み中止となり、公共施設の利用も休止。市内の全海水浴場も開設中止となりました。市民生活への影響は非常に大きく、農林水産業や商工業、サービス業などすべての業種の経済状況が低迷しました。</p> <p>また、国からの要請を受け、3月3日から市内の全小中学校を臨時休業としました。春休み明けの4月6日に一旦再開しましたが、翌日7日に緊急事態宣言が発令されたため、再び臨時休業となり、一部の学校では4月に予定されていた入学式も延期となりました。休業中、子どもたちの学習が途切れることのないよう、また生活状況を確認するため、感染対策を徹底し、時間を学年ごとなどでずらして登校する分散登校が実施されました。緊急事態宣言の延長もあり、6月1日によろやく再開となりました。</p> <p>市では、緊急事態宣言の発令を受け、直ちに「新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置。子育て世帯や妊産婦への給付金、中小企業再建支援金の上乗せなど、市独自の支援を実施しています。</p> <p>緊急事態宣言は5月25日に解除となりましたが、新型コロナウイルス感染症はいまだ収束していません。市では、今後もさまざまな支援を継続的に実施していきます。</p>
2	<p>城西国際大学が観光学部の東金キャンパスへの移転を表明（8月） 関係団体が存続を求める要望書や署名を大学へ提出（9・11月）</p>	<p>令和2年8月、城西国際大学の学長や副学長らが市役所を2度訪れ、市内にある観光学部を令和4年4月1日から東金キャンパスに移転することを決定した旨を市長に直接伝えました。</p> <p>市内の学生約400人の流出により、急激な人口減やアパートの空き部屋増加、アルバイト不足、</p>

		<p>消費の落ち込み、大学職員や受託事業者従業員の失業などが懸念されます。</p> <p>これを受け9月1日、城西国際大学観光学部協力会や学生アパートオーナー会、商工会の代表らが都内の学校法人城西大学を訪れ、存続を求める緊急要望書を理事長へ提出しました。</p> <p>また、11月4日、上記関係3団体に加え、観光協会、観光プラットフォーム、同学部軟式野球部後援会の代表らが、移転の再考を求める署名9,134筆を理事長へ提出しました。</p> <p>市長は、9月・11月のいずれの訪問にも同行し、安房キャンパスの存続について、大学側に強く訴えました。</p> <p>市では現在、同学部の存続を求めながらも、それがかなわなかった場合の今後の方向性についても検討しています。</p>
3	鴨川シーワールドが50周年市の知名度向上や地域経済の活性化に多大なる貢献（10月）	<p>鴨川シーワールドは10月1日、50周年の節目を迎えました。</p> <p>安房地域を代表する観光施設として鴨川市の知名度向上や地域経済の活性化に貢献。半世紀の来館者は延べ4,400万人を超えています。また、成人式の会場提供や市政施行記念日の市民無料招待など、地元根ざした活動も継続的に実施いただいています。</p> <p>さらに6月1日からの1カ月間、市民を無料で招待する「ウェルカモキャンペーン」を実施。これは、新型コロナウイルスによる外出自粛や臨時休校が続いた市民皆さんのストレス解消や健康増進、地域の観光施設の魅力を再発見することを目的としたものです。</p> <p>市では、「市の誇り」として、鴨川シーワールドに感謝状を贈呈しました。</p>
4	地域住民の暮らしを支える中核医療機関 新市立国保病院の建設工事進む（通年）	<p>市では、新市立国保病院の建設工事を進めています。</p> <p>新病院は、「災害時に市民を支える」「これからの公的医療を推進する」「街の活性化を支える」の3つのコンセプトのもと、地域住民の暮らしを支える「中核医療機関」として、安定した病院運</p>

		<p>営に取り組みます。</p> <p>また、「地域に愛され必要とされる病院」として、これまで以上に市民に親しまれるよう名称を公募。10月1日から23日までの期間中、187件の応募がありました。公募結果と国保病院運営協議会による選定報告を踏まえ、新病院の名称は「鴨川市立国保病院」に決定しました。</p>
5	<p>効率的・安定的なごみ処理体制整備に向け契約を締結</p> <p>第2期君津地域広域廃棄物処理事業契約（9月）</p> <p>一般廃棄物中継施設整備・運営に係る契約（3月）</p>	<p>鴨川清掃センターは、昭和61年の建設から34年が経過し、老朽化が著しいことから、令和4年度で焼却を停止する予定です。一般廃棄物などを将来にわたり安全かつ安定的に適正処理を行い、財政負担の縮減、公共サービスの一層の向上を図るため、木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市、鴨川市、南房総市、鋸南町で処理施設を共同設置する計画を進めており、9月に第2期君津地域広域廃棄物処理事業契約を締結しました。この処理施設は、令和9年度の稼動開始を目指しています。</p> <p>また、鴨川清掃センターの償却停止後は、市外の民間の処理業者へ、稼動後は富津市の君津地域広域廃棄物処理施設へ搬出する必要があります。ごみを効率的に運搬するために大型車両へ積み替えを行う「一般廃棄物中継施設」を整備することとし、3月に整備・運営に係る契約を締結しました。</p>
6	<p>全国初！駅と郵便局が一体運営 江見駅郵便局が開局（8月）</p>	<p>8月31日、郵便局業務と駅窓口業務の一体運営をする江見駅郵便局が開局しました。</p> <p>これは、「日本郵便とJR東日本の地域・社会の活性化に関する協定」に基づく、全国初となる取り組みで、局員は、郵便局の業務に加え、乗車券の販売や精算などの駅窓口業務も担います。</p> <p>開局を記念し、かつて郵便物を鉄道で輸送していた車両をイメージしたラッピングポストを敷地内に設置しました。</p> <p>毎日、通学で江見駅を利用する高校生からは「無人駅だったけど、これからは局員さんがいてくれるし、明るくもなったので、すごく安心です」との声も聞かれました。</p>

7	皆さんに愛されて 30 年 市立図書館の来館者が 150 万人 達成（8月）	<p>市立図書館では、8月16日の午後2時ごろ、開設からの来館者150万人を達成しました。</p> <p>現在の市立図書館は、平成2年6月にオープンし、平成13年に50万人、平成23年に100万人の来館者を達成。平成2年の開設から数え30年目のこの年に、150万人を達成するという、二重の喜びとなりました。</p> <p>これからも、赤ちゃんからご高齢の方までみんなに親しまれ、ますます利用される図書館づくりを目指します。</p>
8	災害に強いまちづくりを目指し「危機管理課」を設置（4月） 風水害時の避難所を変更（6月）	<p>市では4月、総務部に設置していた「総務課台風被害復興室」と「消防防災課」を再編し、新しく「危機管理課」を設置しました。</p> <p>これにより、組織の危機管理能力の強化を図り、より一層、災害に強いまちづくりに取り組んでいます。</p> <p>また、市では、令和元年の台風第15号、19号、10月の豪雨災害などの対応を検証した結果、6月1日から風水害時に開設する避難所を、公民館などの12カ所から小中学校体育館などの8カ所に変更しました。この8カ所については、施設の安全性（耐震性）が確保されていること、施設が土砂災害警戒区域等の危険区域外であること、一定数の避難者を収容できること、洋式トイレがあること、授乳室や備蓄スペースなどの必要なスペースを確保できること、一定の駐車スペースがあることなど、避難所として必要な条件を重視し、選定したものです。</p>
9	オルカ鴨川FCの中嶋淑乃選手 なでしこリーグ2部で得点女王に（11月）	<p>オルカ鴨川FCの中嶋淑乃（なかしま よしの）選手が、2020 プレナスなでしこリーグ2部で、今シーズン11得点を挙げ、チーム初となる得点女王を獲得しました。</p> <p>また、チームは、2部リーグに参戦して4年目、3位でシーズンを終わりました。最終節まで優勝の可能性を残し、熱戦を繰り広げ、1位との差は僅か。昨年の4位を上回る結果となりました。</p> <p>これからも鴨川市はオルカ鴨川FCを応援していきます。</p>

<p>10</p>	<p>市民 95 人が参加 第4次5か年計画策定に向け初の試みとなる「かもがわ市民会議」を開催（7月～11月）</p>	<p>市では、第4次5か年計画の策定に当たり、協働のまちづくりの一環として、住民協議会「かもがわ市民会議」を実施しました。</p> <p>今回の会議は、無作為で選んだ市民 3,000 人を対象として参加を募ったところ、最終的に 95 人が参加。7月から 11 月までの全5回の日程で開催しました。</p> <p>会議では、市民アンケートの結果、関心が特に高かった「仕事づくり」、「交通」、「子育て」、「防災」という4つのテーマに沿って、地域の課題やその解決方法について議論しました。</p> <p>この会議で出された意見と、有識者で構成される「総合計画審議会」が、計画策定の両輪となって進めていきます。</p> <p>さらに、11月に実施した「市民懇談会」や、パブリックコメントなどを通じて、幅広く意見を伺うとともに、市議会との意見交換や協議を行いながら計画を取りまとめ、来年3月中の策定を目指します。</p>
-----------	---	---